貴重な建築 社会で守ろう

明治村が新プロジェクト

明治時代の貴重な建物を移築した名古屋鉄道グループの博物館明治村（愛知県犬山市）は、建築物を人類の財産と位置付け、「建築博物館」としてのイメージをより前面に打ち出すプロジェクトを始動する。古いだけに修繕が必要な建物が多く、補修費がかさんでいる。建築ブームを追い風に、建築ファンを取り込み、補修費用を社会で広く負担する機運を高める狙いだ。（塚田真裕）



雨水により劣化した帝国ホテル中央玄関の石材を示し、修理方法を説明する三好学事務局長＝いずれも愛知県犬山市の博物館明治村で

ブーム追い風、補修費CF



雨水により朽ちた東山梨郡役所の柱の木材

「フランク・ロイド・ライトは審美性を重視したため屋根が平らなんです」。公益財団法人明治村の三好学事務局長(50)が明治村の代表的な建築物である帝国ホテル中央玄関「ライト館」を指さす。

ライト館は雨水対策が欠かせない。屋根から水が逃げず、水に弱い軽石凝灰岩「大谷石」やテラコッタイルが朽ち落ちてしまう。2026年度は屋根にステンレス板金を敷設したり、劣化したタイルを交換したりと補修費は5千万円ほど。35年度までに計7億円をかける計画だ。

他にも、洋風建築の重要文化財（重文）「東山梨郡役所」や京都市から移築した教会「聖ザビエル天主堂」などを補修している。

明治村の25年度の年間収入は事業収入9億2千万円に名鉄からの寄付1億円など計11億5千万円。このうち毎年1億～2億円を補修費に充てている。古い建築物のため、部材や塗料から作ることもあり、費用がかさむ。三好事務局長は「本来なら3億円ほど必要」と話す。補修作業を先送りにしたり、最小限にとどめたりしてやりくりしている。

近年、普段は公開していない建築物の内部を公開したり、建築デザインを見て回る建築祭が盛り上がりを見せている。14年に始まった大阪市の「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」や、24年からの「東京建築祭」が成功し、全国に波及。今月26～29日には「なごや建築まつり」が開かれている。

こうした機運に乗じ、明治村は12月から「のこすことは、つくることプロジェクト」に乗り出す。12月3日に特設サイトを公開し、同8日からライト館の補修費を集めるクラウドファンディングを始める。目標額は2千万円で、サイトでライト館の特徴や移設秘話などの情報を発信する。来年3月には大阪・関西万博の大屋根リングを設計した建築家藤本壮介さんを招いたシンポジウムや、建築家を目指す学生向けに建築ゼミを開く予定だ。

三好事務局長は「先人の残した人類の財産を持続可能な形で後世に伝えたい」と力を込めた。

明治村 建築家谷口吉郎氏と旧制第四高等学校（現金沢大学）の同窓で、後に名古屋鉄道の社長、会長を務めた土川元夫氏が戦後の高度経済成長期に明治期の建築物が失われていくことに危機感を抱き、1965年に開村。本物にこだわり、明治期の建築物を中心に67件を保有。うち11件は重要文化財。旧帝国ホテルは日米で保存を求める機運が高まり、67年に日米首脳会談を終えた佐藤栄作首相（当時）が記者団に「明治村に持っていけば幸せだと思う」と発言し、中央玄関部分を移築することになった。

「AIに道徳見つける訓練を」

ステーションAi

独哲学者ガブリエル氏講演



ものづくりが盛んな愛知の産業の未来について対談するマルクス・ガブリエル氏㊧と中島隆博教授＝名古屋市のステーションAiで

人工知能（AI）が急速に発達する時代の人間や企業のあり方を考えるセミナーが24日夜、愛知県のスタートアップ支援拠点「ステーションAi」（名古屋市）で開かれた。世界的に著名なドイツの哲学者マルクス・ガブリエル氏が講演し、道徳的に正しい経済活動を通じて利益を生む「倫理資本主義」とAIの関係などについて語った。

ガブリエル氏は2009年、史上最年少の29歳でドイツのボン大哲学科の正教授に就任。24年に刊行された著書「倫理資本主義の時代」などは世界的なベストセラーとなっている。

ガブリエル氏は、AIが人間の感情や行間を読み取る段階に入ったとして、ルールだけで規制するには限界があると指摘。「道徳的な事実を見つけ出すようにAIを訓練する必要がある」と強調した。

また、災害が多い日本には助け合いの倫理が根付いているとし、「日本に必要なのはトップダウンではなく、具体的な状況から共通の善悪を導き出す『普遍化』に基づいたアプローチだ」と述べた。

東京大東洋文化研究所の中島隆博教授との対談もあり、ものづくりが盛んな愛知県の産業の未来について議論を交わした。

ガブリエル氏は「多くのことはAIで自動化できず、（AIは）人間の能力を拡張・強化することしかできない」と指摘。ドイツの企業トップら600人とAI導入について対話した際、完全自動化の失敗例が相次いだエピソードを紹介した。「人間に取って代わるAIを作る考えは道徳的に間違っているし、実現もしない」と断言し、現場の熟練技術とAIが補い合う重要性を訴えた。

セミナーは愛知県が昨年4月、同研究所と締結した連携協定の一環で開催され、ステーションAi入居企業の関係者ら120人が参加した。（白井春菜）

トヨタG各社が改善の知恵共有

横浜で「からくり展」

製造現場で働く人の困り事の解決や作業負担の軽減につながるアイデアを紹介する展示会「からくり改善くふう展」が25、26日、横浜市のパシフィコ横浜であり、トヨタ自動車グループ各社が工場での取り組みなどを紹介した。

トヨタ車の組み立てを担う豊田自動織機の長草工場（愛知県大府市）は、部品の情報が記載された帳票「カンバン」の仕分け機を出品。工場の二つのラインに1日で計3千枚のカンバンが届くといい、2時間かかっていた仕分けを自動化した。

ジェイテクトの花園工場（同県岡崎市）は、ステアリングに装着するゴム製のキャップ同士がくっついてしまい、設備の停止が頻発する課題に着目。キャップを傷つけないよう、ローラーで適度な圧力をかけてばらす装置を披露した。



たたく作業を見直した愛知製鋼のからくり＝横浜市のパシフィコ横浜で

愛知製鋼は、くぎ打ちのようなたたく作業を減らす2作品を展示。搬送用ロボットの部品交換などの作業の安全性を高めた。

同社の木原一馬リスクマネジメント本部長は「極端な自動化は壊れた時に困るし、想像しないようなロボットの動きは危険も伴う。まずは人が工夫してできることを考え、シンプルにすることが重要」と話した。

展示会は日本プラントメンテナンス協会（東京）が主催。今年は118社から424作品が集まった。

半導体など部品 共同調達で合意

東海理化、2社と

トヨタ自動車系部品メーカーの東海理化（愛知県大口町）は、いずれも自動車向け電子部品製造の「アルプスアルパイン」（東京都大田区）、「日本精機」（新潟県長岡市）の2社と共同調達で基本合意したと発表した。来年春ごろをめどに開始し、サプライチェーン（供給網）の強化を目指す。

3社が共通で使う半導体、基板材、樹脂材などの部品や原材料を対象に、共同で調達を進める。地政学リスクや自然災害に伴い、原材料価格の急激な変動や部品の調達不安などが頻発しており、企業の枠を超えてそれぞれの知見やネットワークを生かし、調達の基盤を強化する。

基本合意書の締結は11月19日で、3社の社長が都内で調印した。今後は技術交流や新たな事業領域の連携も検討していくという。

「LaLa arena NAGOYA」

名古屋・港区に新設

アリーナ名称決定

名古屋市港区の再開発地区「みなとアクルス」に新たに建設される多目的アリーナの名称について、三井不動産は26日、「LaLa arena NAGOYA」（らららアリーナ名古屋）」に決まったと発表した。2028年1月に開業予定。

千葉県船橋市の「LaLa arena TOKYO-BAY」に続くシリーズ2施設目。鉄骨4階建てで、延べ床面積は約2万7500平方㍍。収容規模は約1万人となる。豊田通商のプロバスケットボール男子「ファイティングイーグルス名古屋」がホームアリーナとして利用するほか、コンサートや企業の展示会などにも対応する。

26日は報道陣向けの見学会があり、座席部分や屋根の鉄骨が取り付けられた内部が初めて公開された。工事の進捗率は6割ほどで、27年10月の完成を見込む。



建設が進んでいる「LaLa arena NAGOYA」の内部＝名古屋市港区で

工場の土壌汚染で

経営者ら対策議論

名古屋でセミナー

工場の環境対策を考えるセミナーが26日、名古屋市であった。土壌汚染の浄化事業を手がける企業の経営者や専門家によるパネル討論があり、環境汚染のリスクとの向き合い方を議論した。汚染浄化事業者エコサイクル（東京）などが主催し、オンラインを含め約150人が参加した。

パネル討論で、同社のシュリハリ・チャンドラガトギ社長は「日本には土壌汚染対策法があるが、欧州はより厳しい」とし、海外進出の際は「それぞれの国の法律をしっかり知らないと、企業ブランドが傷つくリスクとなる」と指摘した。

産業技術総合研究所の保高徹生副センター長（環境学）は、工場の敷地から土壌汚染が出た場合は「行政や住民に公開して適切に対応を進めていくことがプラスにつながる」と呼びかけた。



環境汚染のリスクとの向き合い方について話す経営者や専門家ら＝名古屋市内で

★10月電力需要3・9%減

中部電力パワーグリッドは、管内5県（愛知、岐阜、三重、長野、静岡）の10月の電力需要実績が、前年同月比3・9%減の98億7000万㌔時だったと発表した。前年実績を下回るのは6カ月連続。名古屋の10月上旬の平均気温が前年より0・9度低かったことなどから、冷房の稼働が減少したことが響いた。

電圧別では、家庭や小規模事業者向けの「低圧」が7・7%減の25億8600万㌔時だった。工場や大規模ビルなどの「高圧・特別高圧」は2・4%減の72億2100万㌔時で百貨店や商店、劇場といった施設で業務用需要が落ち込んだ。

20年保証の排水管更生
ホームページ
ビル 学校 庁舎 公共施設
"特許工法" 第三の再生パイプ工法 PIPE IN PIPE（パイプ・イン・パイプ）
集合住宅 公営住宅 団地 社宅 地下鉄・鉄道
FRPライニング・管更生で パイプを元気にする会社
株式会社 P・C・Gテクニカ
通話料無料 0120-812-032

田中貴金属から
会員登録のお願いです。
TANAKA 田中貴金属
2027年1月4日以降、田中貴金属 直営店での地金・コインの購入/売却、貴金属製品の売却には、会員登録が必要となります。


対象となる店頭取引
地金の購入/売却 | コインの購入/売却 | 貴金属製品の売却
ジュエリー等の商品の購入には、本会員登録は必要ありません。
2027年1月以降のお取引をスムーズにご利用いただくため、事前の「田中貴金属 総合口座」への会員登録をおすすめします。
※すでに「田中貴金属 総合口座」の会員であるお客様は改めて会員登録いただく必要はありません。
「田中貴金属総合口座」会員登録はこちら
2027年1月以降、直営店でのお取引時の本人確認書類は、マイナンバーカードのみとなります。
田中貴金属 直営店
銀座本店　横浜元町店
仙台店　名古屋店
心斎橋店
福岡 西鉄グランドホテル店
直営店情報
会員登録に関するお問い合わせ先　0120-43-5610　受付時間：9:00～17:00（土日祝日除く）
https://gold.tanaka.co.jp　※当社の個人情報保護方針を掲載しています。　※金は元本保証の商品ではありません。相場の変動によりご売却時に購入価格を下回る場合もあります。　[田中貴金属の社名を利用した投資などの勧誘にご注意ください。]